

日本道德教育方法学会第 22 回研究発表大会 プログラム

期日：平成 28 年 6 月 11 日（土）、12 日（日）

会場：茨城大学（水戸キャンパス） 〒310-8512 茨城県水戸市文京 2-1-1

大会事務局：茨城大学大学院教育学研究科 小川哲哉研究室内

主催：日本道德教育方法学会

後援：茨城大学、茨城県教育委員会、水戸市教育委員会

大会参加費 2,000 円 ・会員、非会員とも。当日、受付にて徴収します。

懇親会費 5,000 円 ・懇親会は会員、非会員を問わず参加できます。

（希望者のみ） ・参加申込用紙で申し込んでください。

【第 1 日】6 月 11 日（土）

11:00 12:30 13:00 14:55 15:10 17:40 18:30 20:00

理事会 (A224)	受 付	自由課題研究発表 分科会Ⅰ～分科会Ⅴ	シンポジウム (D201)	懇親会 (ホテルレイクビュー水戸)
---------------	--------	-----------------------	------------------	----------------------

会員控室（B312）

理事会 11 時 00 分～13 時 00 分（A224）

受付 12 時 30 分～（教育学部 B 棟入口）

自由課題研究発表（発表 25 分・質疑 30 分）

分科会Ⅰ（B203） 司会：田沼 茂紀（國學院大学）

13:00～13:55 ①道德授業における高学年児童の学び
ーテキストマイニングとマトリクスによる分析の試みー
松井 由紀（石川県金沢市立伏見台小学校）

14:00～14:55 ②道德の時間における評価に関する一考察②ー道德的実践意欲の向上を目指してー
○大舘 昭彦（千葉県流山市立小山小学校）
小泉 洋彦（千葉県流山市立小山小学校）

分科会Ⅱ（B204） 司会：藤永 芳純（元 大阪教育大学）

13:00～13:55 ①仏教の師弟関係にみる道德教育方法的意義
岩瀬 真寿美（名古屋産業大学）

14:00～14:55 ②アンケート調査にみる「道德」という言葉
中尾 豊喜（大阪キリスト教学院）

分科会Ⅲ（B208） 司会：金光 靖樹（大阪教育大学）

13:00～13:55 ①道德判断を重視した学級づくりの展開
手塚 裕（小田原短期大学）

14:00～14:55 ②問題解決的道德授業の捉えと展開ー統合的道德授業プログラムの視点からー
田村 博久（石川県白山市立白峰小学校）

分科会Ⅳ（B207） 司会：永田 繁雄（東京学芸大学）

13:00～13:55 ①子どもが主体的に議論を進め、道德的価値理解を深めていく授業の一実践
尾崎 正美（岡山大学教育学部附属小学校）

14:00～14:55 ②価値観の高まりを感じるから、アクティブな学び合いができる道德授業
～子どもの中の「問い」を生かし合わせて～
柴田 八重子（愛知淑徳大学【非】）

分科会Ⅴ（B205） 司会：田邊 重任（高知大学）

14:00～14:55 ①自作教材開発の要件に関する研究 Part2
淀澤 勝治（兵庫教育大学）

シンポジウム 15時10分～17時40分 (D201)

テーマ：アクティブ・ラーニングを通して道徳授業改善の方向性を考える

企画趣旨

別紙記載のとおり

◇ シンポジスト

- 押谷由夫（昭和女子大学）
―教育課程へのアクティブ・ラーニングの導入と道徳の教科化の観点から
- 小川哲哉（茨城大学）
―高等学校における道徳授業の展開の観点から
- 中山真樹（大阪府高槻市立竹の内小学校）
―小学校における道徳授業改善の観点から
- 鶴田清司（都留文科大学）
―教科教育の観点から

◇ 司会

- 渡邊真魚（福島県教育庁）
- 上地完治（琉球大学）

懇親会 18時30分～20時00分（ホテルレイクビュー水戸）

※会場までホテルのバスで移動します。

【第2日】6月12日（日）

8:30	9:00	11:55	13:00	13:45 14:00	16:00
受付	自由課題研究発表 分科会VI～分科会IX	<昼食> 評議員会 (A224)	会員総会 (D201)	課題研究 (D201)	

会員控室（B312）

受付 8時30分～（教育学部B棟入口）

自由課題研究発表（発表25分・質疑30分）

分科会VI（B203） 司会：林 泰成（上越教育大学）

- 9:00～ 9:55 ①弱さに向き合い、心折れずに歯を食いしばる生徒の育成—道徳とキャリア教育を関連させて—
鈴木 賢一（愛知県愛西市立八開中学校）
- 10:00～10:55 ②道徳科における情報モラルに関する指導の試みと検討
天野 幸輔（愛知県岡崎市立北中学校）
- 11:00～11:55 ③ESD（持続可能な開発のための教育）と道徳教育
西村 日出男（大阪教育大学【非】）

分科会VII（B204） 司会：渡邊 満（広島文化学園大学）

- 9:00～ 9:55 ①高校道徳におけるアクティブ・ラーニングに関する一考察
—「モラル・スキル・トレーニング」を手掛けとして—
○柴原 宏一（茨城大学）
長島 利行（茨城県立水戸南高等学校）
- 10:00～10:55 ②アメリカにおける Restorative Justice の実際
—新科目「公共」と「人間としての在り方生き方」教育を考える—
醍醐 身奈（武蔵野音楽大学）
- 11:00～11:55 ③高校における討議型道徳授業に関する研究
○小川 哲哉（茨城大学）
渡邊 英一（茨城県教育庁）
岩瀬 美江（茨城県立鹿島高等学校）

分科会VIII（B208） 司会：上蘭 恒太郎（長崎総合科学大学）

- 9:00～ 9:55 ①道徳の「生徒による自己評価」の活用—良質な文言による評価に繋げるために—
中山 芳明（京都市総合教育センター）
- 10:00～10:55 ②道徳教育における評価のあり方—教師の視点から探るエピソード評価の可能性—
渡邊 真魚（福島県教育庁）
- 11:00～11:55 ③道徳教育における基盤性の育成
—コミュニケーションにおける「共通基盤」及び「共通志向性」の観点から—
鎌水 浩（大阪観光大学）

分科会IX（B207） 司会：柴原 弘志（京都産業大学）

- 9:00～ 9:55 ①道徳の授業を核とした教員の力量形成（2）
～道徳の授業研修の場で参加者にどのような学びが生起しているのか～
今川 美幸（兵庫県教育委員会）
- 10:00～10:55 ②「考え、議論する道徳」の定着を図る具体的一方策
—話し合いの中で妥当な道徳的判断を「線引き」と共に探らせることを重視して—
岡本 義裕（神戸市外国語大学）
- 11:00～11:55 ③アクティブ・ラーニング的指導法の観点からみた道徳教育のあり方
石井 純一（茨城県立小瀬高等学校）

※ 第2日の昼食については、各自ご準備ください。大学から少し歩けば、食堂やコンビニがあります。

評議員会 12時00分～13時00分 (A224)

会員総会 13時00分～13時45分 (D201)

課題研究 14時00分～16時00分 (D201)

テーマ：道徳科充実に向けた実践と評価の具体的展開

企画趣旨

平成27年3月に小・中学校及び特別支援学校学習指導要領が一部改正され、道徳の時間は「道徳科」として新たな趣旨で実施されることとなった。小学校では平成30年度、中学校では31年度から全面実施となるが、それまでの移行期間中に各学校では道徳授業の充実に向けて何をどう改善するのかという具体的かつ実効性の伴う取り組みを展開していくことが喫緊の課題となっている。

では、道徳授業が「道徳の時間」から「特別の教科 道徳」へと改革を迫られた背景に思い致す時、学校は、教師は、何を課題とし、どう授業改善を図っていかなければならないのであろうか。平成26年10月の中央教育審議会答申「道徳に係る教育課程の改善等について」で指摘されたのは、子供にとって魅力や切実感が乏しく道徳の特質を生かした授業となっていない点や、学校あるいは教師によってその指導格差が大きい点等が問題とされていた。よって、これからの道徳科では学ぶ子供も、指導する教師も、共に効力感を感じられるような実効性の伴う授業へと改善を図ることが必須であろうと考える。そして、それを体現するのが、学習評価法の確立である。

そこで、本課題研究では大会1日目のシンポジウム・テーマである「アクティブ・ラーニングを通しての道徳授業改善」についての総括的な討論を受け、道徳授業充実に向けたもう一方の重要課題である学習評価をどう具体的に展開するのかという視点から議論を深めることとしたい。協議においては小・中学校の道徳授業実践家、大学研究者、学会研究委員等、多様な視点から道徳学習評価の進め方についての提案をいただき、これから期待される道徳授業の「指導と評価の一体化」についての多くの知見を得たいと考える。

道徳学習評価を視野においた授業改善の方法論を巡っては、学校種や学校実態等によって多様な捉え方が示されるであろうことが想定される。それらを前提とした協議では、以下のような論点を設定し、深まった議論が展開されることを期待したい。

- ①道徳科の趣旨を踏まえた授業改善や道徳学習評価とは何か。
- ②道徳学習評価を可能にする授業としていくための指導のポイントは何か。
- ③道徳授業改善、道徳学習評価促進に向けて各学校が移行期間中に早急に取り組むべき課題とは何か。

◇ 登壇者

- 提案① 小泉 洋彦（千葉県流山市立小山小学校）
- 提案② 若林 尚子（埼玉県川口市立榛松中学校）
- 提案③ 柳沼 良太（岐阜大学）
- 提案④ 服部 敬一（大阪市立豊仁小学校・学会研究委員）

◇ コーディネーター

田沼 茂紀（國學院大學・学会研究委員長）